

～経済的な光ネットワークを実現する高機能集積化光スイッチングノードの研究開発～

委託先：富士通(株)

研究代表者：富士通(株) 河合 正昭

研究期間：平成15年9月～平成20年3月

主な研究実施場所：神奈川県川崎市、厚木市

研究成果：小型・低価格かつフレキシビリティの高い光ハブ機能の提供、End-to-endの高品質な通信状態の確保を目的とし、波長選択スイッチ、波長・偏波分散モジュールとそれらを連携してアダプティブに制御するサブシステムの研究開発を行った。各モジュールの単体および統合時の10Gbit/sおよび40Gbit/s多段透過・補償評価（実験、シミュレーション）を行い、良好な伝送特性を得た。今後、メトロコア網の基幹をなす光スイッチノードへの適用が期待される。

研究成果説明図：

